



# 総務文教

## 「主要事業の進行を調査」

- 10月29日開催
  - Q 加古川市別府町での女兒殺害事件発生後の教育委員会への対応は。
  - A 朝夕のパトロールを実施。補導委員会や地域住民による見守り活動を要請した。
  - Q 中央公民館の館長・副館長の突然の交代にみる指定管理者の運営状況は。
  - A 町がNPO法人の人事に介入するものではない。
  - Q 子ども防災キャンプでの職員の飲酒問題は。
  - A 当直職員は飲まなかったが、誤解の招くような行動は反省し、今後は慎む。
  - Q 土山駅南地区開発事業が事業が町直営になったことで、運営主体の(株)フロンティアはりまは解散の方向。
  - Q 播磨北小学校跡地施設運営管理協議事業
  - A 協議会の活動と特別支援学校と共存できるよう県と協議したい。
- 11月27日開催
  - Q 土山駅南地区開発事業(株)フロンティアはりまは、11月19日の臨時株主総会で解散の件が賛成多数で可決。(仮)はりま複合センターの整備は住民の意見を聞いた上で、1月上旬に基本設計をまとめ、年明けに実施設計の予算を議会に上程。
  - Q コミュニティバス導入調査事業
  - A 土山駅から播磨町駅までをベースにルートを想定。運行間隔は30分に1本。土日を含め毎日運行。料金は100円にしたい。
  - Q 播磨北小学校跡地施設運営管理協議事業
  - A 県教育委員会で事務局案をヒヤリング。平成20年10月から着工し、増改築を経て平成23年4月に完全オープン計画。

# 建設水道

## 「繰上償還の計画を調査」

■11月26日開催  
水道・下水道グループより「公的資金補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画及び公的資金補償金免除繰上償還に係る公営企業経営健全化計画」について、説明を受け、その後質疑を行った。

今回、旧資金運用部資金など公的資金の借入金を年利2%に借換えすることにより、利息が1億9517万8千円削減できる計画を策定した。

この健全化計画の一番の課題は「下水道料金水準の適正化」です。

現在、本町の使用料は1t当たり94円40銭、公共下水道の全国平均では132円、本町と同等の類似団体では121円65銭となっている。

当計画では約30%の値上げを予定しているが、改定率は今後(仮)下水道運営委員



▲生活用道路の実情を点検(古宮地内)

- 会で審議し、決定する予定で、改定時期は平成21年度を予定している。
- Q 近隣市町の料金体系は。
- A 一般家庭の場合、2カ月で約40tを使用する。40tあたりの使用料では播磨町が3150円、加古川市4830円、明石市4196円、高砂市4410円、稲美町3000円。また水洗化率は、平成18年度末で88.4%。

- Q 料金の適正化はよいが、30%ものアップを実現できると考えているのか。
- A これまで工事説明会で維持コストのみで使用料を算出していると説明してた。30%の改定についても一気になのか、徐々になのか、来年度に協議したいと考えている。
- \*お詫びと訂正  
議会だよりNo.189号(10月24日発行)において「訂正前」・平成13年に「土山駅北地区再開発準備組合」を設立  
訂正後：平成14年に「土山駅北地区まちづくり推進協議会」を設立

# 民生生活

## 「学童保育の現場を視察」

- 10月4日開催  
蓮池小学校学童保育所を視察  
Q 学童保育とは。  
A 子どもにとっての生活の場所。親が働き、家に誰もいないなどで家庭の代わり子どもが必ず帰ってこなければならぬ場所。1年生から6年生までのつながりを大切にしている。
- Q 学童保育で一番大切なこと、苦労することは何か。  
A 子どもたちの「安全」と「心の成長」です。今はクーラーを設置してもらったが、無い時は夏場室温が38度以上になり、弁

- 11月6日(石川県加賀市)
- 11月7日(福井県越前市・鯖江市)で視察研修
- ①石川県加賀市  
・地域が出資して設立した「加賀市総合サービス(株)」を調査。
- ②福井県越前市
- ・首長のトップダウンで実施した「中学校給食(ランチルーム方式)」を調査。
- ③福井県鯖江市  
・市民からのボトムアップで実施した「市民活動によるまちづくり推進条例」制定と「市民協働パイロット事業」を調査。

当が腐った時があった。

■10月25日(長野県松本市)  
■10月26日(長野県塩尻市)で視察研修

松本市では、子育て支援事業(子育て支援割引カード「わいわいパス」など)の取り組み状況について調査した。

また、塩尻市では健康増進事業の取り組み状況について調査した。

■11月12日開催  
福祉グループより  
障害者自立支援法の施行



▲学童保育所の運営状況を視察(蓮池小)

- に伴う各種障害者サービスへの影響について説明を受けた。
- Q いなみ野特別支援学校の生徒の卒業後の進路先に小規模作業所などがあるが、自己負担が生じたために利用回数を減らしたり、行けなくなっている状況もあると聞いているが、把握されているか。
- A 福祉としても受益者負担として整理したい。法外の授産施設などは負担はない。法内の施設については、利用日数に応じて負担となっており、事業所のサービス低下によって利用の手控えがあるように聞いている。

# 議会運営

## 「議会活性化の進め方を研修」

- 10月30日(神奈川県湯河原町)
- 10月31日(愛知県一色町)で視察研修
- 「議会基本条例」を制定し、議会の活性化に取り組んで
- いる湯河原町と議員定数を4名削減し、議会改革に積極的に取り組んでいる一色町を視察し、調査・研究を行った。

# 広報公聴

## 「広報紙の充実をめざして」

- 11月8日(佐賀県玄海町)
- 11月9日(福岡県粕谷町)で視察研修
- 玄海町は、3年前からインターネット網を利用して実施している議会の映像配信の運営状況などについて話を聞くことができた。
- 粕谷町では、住民に読んでもらえる議会広報紙を作るための苦労を聞くことが
- できた。特に、表紙のレイアウトの考え方には学ぶ点があった。

